

平成 25 年度第 2 回高梁市地域公共交通会議議事録（要旨）

日時：平成 26 年 2 月 5 日 13：30～

場所：高梁市文化交流館 3 階 第 2・3 講座室



1. 開 会

2. あいさつ

- ・会長あいさつ
- ・会議成立報告（14／15 出席）

3. 報 告

（1）備中ふれあいタクシー利用状況について（事務局説明）

委 員：成羽バスセンターを乗降車地として加えることについてご検討をお願いします。

事 務 局：バス事業者や運行事業者と協議して検討します。

委 員：松原線のイズミ経由ルートへの変更についてもご検討をお願いします。

事 務 局：松原線のルート変更については、変更しても通学等に差し支えないか確認し、前向きに検討します。

委 員：月別利用者数の推移グラフの数字と目的地のグラフの数字が異なっていますが、どのように集計されているのでしょうか。

事 務 局：目的地別グラフは、行きの便のみを集計しています。

（2）公共交通在り方検討チーム検討状況について（事務局説明）

委 員：関係団体へのヒアリングもなく職員のみで検討されているようですが、この内容では漠然としていて中身が無いように思います。具体的な検討はなされているのでしょうか。

事 務 局：各課の問題点を洗い出して、施策の方向性を検討しています。具体的な検討を進めているものもありますが、現在進行形のものあり、今回は、お手もとの資料に止めています。3 月末までにはとりまとめて、次回の交通会議で報告します。なお、検討チームでは、目指すべき方向性を検討し、具体的な施策等につきましては、この交通会議の場で皆さんのご意見をいただきながら検討していきたいと考えています。

4. 議 事

（1）川上地域交通再編について（事務局説明）

委 員：コンサルと現場との協議が十分になされていないように思います。また、出た数字に対して、疑問を持って十分に検討するという姿勢が見えてきません。そこが一番の問題であると思います。

委 員：スクール併用路線を以前利用していて、4 月以降利用していない人が 15 人ということですが、その方たちは、4 月以降どのようにしていらっしゃるのか分かりますか。また、本格運行に向けて行きの便も含めてダイヤを遅くすることですが、医療センターでの診察時間がその分遅れてしまうのではありませんか。その当たりの状況を教えてく

ださい。

事務局：4月以降スクール併用路線を利用されていない方15人のうち8人は、ふれあいタクシーに切り替え、3人が家族送迎、その他、予約が面倒、ダイヤが合わない、病気で外出しないが各1人となっています。また、残り1人の方については、民生委員さんに聞いたところでは、利用していないからと言って別段困ってはいらっしゃらないとのこと。ダイヤの変更について、医療センターの診療開始が9:30からで、現行ダイヤでは、早く着いている状況ですので、行き便を遅くしても診療時間が後にずれ込むことはありません。

委員：川上医療センターは、医療だけですか。患者さんの送迎車両等はないのですか。

事務局：医療センターは、医療のみです。また、送迎車もありません。

委員：医療センターへの利用がほとんどですが、通院だけでなく買物などの利用を増やさないと行き詰ってしまうように思います。

事務局：ダイヤ改正は、医療センターへの通院に合わせるだけでなく、帰り第2便は、高梁方面への利用を考慮したものです。また、医療センターに行かれた方の多くが、受診後に地元商店で買物をして帰る、という利用の仕方をされています。

専門官：現在、国庫補助の利用はなされていないようですが、どのようにお考えですか。

事務局：利用できるものがあれば、利用したいと思いますので、ご相談させていただきます。

副会長：周知の徹底を改めてお願いします。

会長：川上の本格運行についてご承認いただけますでしょうか。

→承認

(2) 巨瀬・川面・中井地域公共交通再編について（事務局説明）

委員：巨瀬・川面・中井地域の交通再編では、4条路線への乗り継ぎについてどのように考えていますか。

事務局：26年度に検討していきます。

委員：中身が無いので、議論のしようがありません。この地域は、これまでの備中や川上と条件が異なり、これまでと違ったものを検討する必要もあるかと思えます。

事務局：今回は、主なバス利用者である小中学生と高齢者の利用状況を整理するとともに、スケジュールについてご意見を承りたいと思っています。具体的なものは、スケジュールに示しますように、26年度に検討したいと考えています。

事務局：高齢者の半数が免許を持っていないにもかかわらず、路線バスの利用は10%に止まっており、その原因分析も行っていますが、いずれにしてもバスが利用しにくい状況があるんだろうと考えております、今後、地域の皆さんの声を聞かせていただき、またバス事業者さんともお話していくなかで、バスを利用しやすい方法を考えるのがいいのか、他の交通手段を導入するのがいいのかを見極め、その結果を次回の公共交通会議で提示させていただきたい。

委員：人口が減少していく中で、バス利用は当然減少していくわけですが、だからと言って単純にバスを廃止するとか、削減するとかという話にはして欲しくない。路線バスにも通院に利用する医療バスの機能、通学に利用するスクールバスの機能がある訳ですし、そ

のあたりも一体的に考えてもらいたいと思います。

事務局：人口の減少を含め地域の状況は変化してきているし、この地域には既存の4路線バスやタクシー事業者があることも踏まえて、地域にとってよりよい結論を見いだしていきたいと考えています。

会長：巨瀬・川面・中井地域公共交通再編についてご承認いただけますでしょうか。 →承認

(3) 26年度事業計画・スケジュール（案）（事務局説明）

委員：巨瀬・川面・中井と松原を分けずにいっしょにすることはできませんか。

事務局：それぞれの地域実態に合わせて具体的な事業を進めていきますので、広い地域を同時に行うことにはいろいろ問題もあります。そのため、年次計画を立てて取り組んでいきたいと考えています。

委員：事務局はスピード感をもって計画を進めていただきたい。

専門官：あり方検討チームは、26年度以降も継続する予定はありますか。

事務局：委員の任期が3月末までとなっており、25年度末をもって解散となります。

専門官：定住や産業振興の視点からも公共交通を考えていращやるチームですし、来年度には、連携計画の見直しも行われるようですので、ここで解散するのは、もったいないような気がします。国もこれまで赤字の縮小に視点を置いて政策を進めてきましたが、地域の人にどうしたら利用してもらえるかといった利用促進に力を入れて今後進めていきたいと考えています。また、今後の再編においては、それぞれの地域をよく知る有識者の方を交えた検討を進めていただきたいと思います。

委員：検討チームの結論を交通会議の場でプレゼンしていただきたいと思い、このスケジュールに入れていただきたいと思います。交通会議では、連携計画に沿って利用者ニーズに合わせて再編を進めてきましたが、検討チームでは、政策的な視点から検討を進めてこられたと思います。連携計画の見直しを協議していく上で、検討チームのお考えを聞いておく必要があります。また、川上地域の再編にあたって行ったワーキングを他の地域でも行っていただきたいと思います。

事務局：ご提言に沿って検討します。

会長：ご承認いただけるようでしたら、拍手をお願いします。 →承認

(4) その他

委員：先ほどの成羽バスセンターを乗降場所として追加してほしいと申し上げましたが、乗降場所を増やすことは、運輸局の許認可事項になりますでしょうか。

専門官：運行ルート上であれば、問題ありません。市、路線バス事業者、運行事業者で調整ができていれば、その旨をお知らせいただくだけでかまいません。

委員：現在バスが通っていない市街地の本町などにバスを通すことはできますか。

事務局：市街地の公共交通は町の魅力にもつながると思います。現在循環バスが走っていますが、市街地の公共交通も検討課題であり、会議の場で検討していただきたいと思います。

委員：かつては走っていましたが、バスの車幅も大きくなっており、今の幅員では、すれちがいや停留所の設置も困難と考えます。

会 長：その他ございませんか。・・・ないようですので、本日の議事はこれで終了とします。長時間にわたり協議いただき、ありがとうございました。

5. 閉会

副会長あいさつ